

勉強ぶれいく

令和元年10月18日作成

ふくろうの森 インフォメーション

FUKUROUNDOMORI



一書精読

そろそろ富士山に冠雪がみられるころになってきました。甲府地方気象台から山頂に雪が確認できると初冠雪発表。もし今日、山頂に雪があっても曇っているので「見えなきゃダメ」ってこと。子供の遊びみたいで楽しいですね。

一書精読

今回は、「一書精読」についてお話をします。

このテーマは、教室やメールマガジンなどでよくお話しますので、「聞き飽きた」ということがあるかもしれませんが、大切なことなので繰り返すことにします。聞き飽きるほど繰り返されるというのは、嫌なものですけど、大切なことが自動的に復習できるということですので、お得なことだと思ってください。

この一書精読という言葉は、ふくろうの森で行っている、自律個別学習の基盤である OK!学習法創始者の畑山先生から伝授していただいた言葉です。どういう内容かというと簡単にいうと文字の通り「一つの書を細かいところまでしっかり読む」ということです。学校の勉強でいうと、ひとつの教材をとことんやりきるということになります。

ふくろうの森で学ぶ生徒は、このことを基にした学習を行い、大切な勉強方法として「一書精読」について学びます。



それで行うの

「一書精読」これは、勉強方法の基本で、とっても重要なことですが、なかなか実施することが難しいことです。勉強について、やる気になればなるほど難しい。例えば、お家には「使っていない教材」山ほどあると思います。それらの多くはやる気になったときに買ったものだと思います。

「やっているけど良い結果が出ないという時は身になる勉強になっているかを考える」この言葉、前回のニュースレターでも使いましたが、一書精読についてもこれがいえます。

やる気になると、本屋さんに行って新しい教材を購入したくなります。本屋さんには魅力的な本がいっぱい。あれもやりたい、これもやりたい。そこで「ちょっと待った」です。

やる気になったら「まず整理整頓」から始めましょう。やるべきことを絞り込み「簡素化」していくことを考えます。

やるべきことの簡素化

一書精読を実現するために、利用する教材を簡素化します。教材を分類して、それぞれ最小限の教材に絞り込みます。普段の勉強であれば、通年を通して利用する教材、演習用の教材、辞書のよな使い方をする教材。入試対策であれば、入試対策学習初期に使う、総復習用教材、その後使う過去問、類似問題の基本3種。初期は総復習用教材が基軸教材、それが終わったら過去問が基軸教



材になります。過去問を基軸として使うときの方法は教室でお話します、その他の教材は、捨てます。捨てるのがもったいなかったら封印します。そして高校生になったらまとめて捨てる。「基軸教材」は、特に重複しないようにすることが重要です。

学習塾を利用している中学生は、あえて本屋さんで別教材を購入する必要はほとんどありません。でも、受験生は、やっぱり新しい教材を本屋さんで買ってしまいます。そして、たくさんある教材をやりきろうとして疲れ切ってしまうこと度々。どんどん非効率になっていく勉強に気が付かないこともよくあります。



本屋さんで教材を購入するときのポイント

教材選びのポイントは、「洗練度」です。塾に通っている方は、基軸となる教材は購入する必要がありません。でももし購入するのであれば、薄くて簡潔、そして解説がしっかりしているものを選びます。そして「教材専門会社」が販売しているものにします。演習用の教材も一緒です。その理由は「解説が洗練されているか」というところです。数学でいうと、補助線 1 本をどこに引くかということがしっかり検討されているか。そうした細かいところまで洗練されていることが重要なんです。

もし、持っている教材が膨れ上がってしまっていたならば、一度、教室に全部持ってきてください。仕分けのアドバイスをいたします。



ブログとメールマガジン

ふくろうの森では、ブログとメールマガジン発行をしています。どちらもサボリサボリ。特に夏休みなど忙しいときはまったく更新されず、落ち着くと、きまぐれに連日更新されるという感じですすめています。メールマガジンは 2 部発行、その内、まぐまぐを使った配信は 2004 年からスタート、読者数が 3000 人を超えたときがありました。現在は 600 人くらいです。ブログもメールマガジンも勉強に関する情報を配信していますので、どうぞご利用ください。

ふくろうの森塾長のお気軽配信ブログ



メールマガジン（まぐまぐ配信）

「中学生の勉強 ゼロからの特別進学プログラム」



LINE@やっています。

実は、ふくろうの森は LINE をやっています。LINE@というものです。でも、塾長がラインの使い方がわからないので、まったく利用していないという状況です。



（ちなみに塾長は、いまだに電話はガラケー使用。



スマホは検索のときや、カメラ、そして道案内ナビとして使っています）これから塾の連絡方法として、LINE@すこしずつ使っていこうと思います。

どうやってつかうのかなあ。

サボテン



静岡県公立高校入試対策入門

久しぶりに小冊子を作りました。小冊子というより本ですね。いままで作ってきたような小冊子と違い、ブックカバーと帯がありそしてISBNコードもとっています。

「静岡県公立高校入試対策入門 静岡市清水区の中学生タケシ君の場合」という、なんと静岡市清水区限定の公立高校入試対策の本です。清水区に住む中学生タケシ君の公立高校入試対策ストーリーで静岡県の公立高校入試対策について説明をした内容になっています。購入は専用ホームページ <https://takeshi.study054.com/>（「静岡県公立高校入試対策入門」で検索できます）もしくはAmazon からできますが、手っ取り早いのは、教室に注文してください。450 円＋消費税で購入できます。（え～タダじゃないのって声が聞こえそうですが、タダじゃないんです。すみません）



小学生模擬試験始めました

高校無償化にともなって私立高校の倍率増加が予想されます。すでに来年春は私立の併願受験が想定された流れになっています。だから中高一貫校の中学受験も・・・というのは気が早いでしょうか。でも、中学受験の難度化に対応する仕組みはしっかり作っておいたほうが良いと思いました。そして私立に行かなくても、受験や模試でレベルアップを図るのもよい勉強方法だと思います。

小学生プログラミング始めました



ふくろうの森本校で使用するプログラミング教材は、QUREO です。スクラッチと同じブロックプログラミングでゲームを作ります。

ロボットプログラミングより安価に学ぶことができるのが特徴です。すでに 2 名の小学生がこのプログラミングに取り組んでいます。

ゲームのように楽しみながらプログラミング的思考のカリキュラムを学んでいくことができます。おすすめです。それで中学生のプログラミングなんですが、MOONBlock を使って塾長が直接携わっていくようにしようかなあとボンヤリ考えています。

作成 ふくろうの森 石嶋之広

